

(別紙1)

## 実績報告書

|               |  |
|---------------|--|
| 実施期間          | (開始日) (完了日)<br>平成 29 年 9 月 16 日 ~ 平成 29 年 10 月 26 日  |
| 実施場所          | 宇部市岬・見初ふれあいセンター、総合福祉会館、文化会館  |
| 実施内容          | 別紙 チャイルドラインやまぐち受け手 15 期生募集！<br>受け手ボランティア養成講座（一覧の通り）<br>全 10 回講座を開催、うち、第 1 回～第 5 回を助成事業として公開講座で実施（参加費無料）<br>( 内 容 ) (参加者数)<br>1. 今の子どもたち 子どもたちの現状をとらえる 34 人<br>2. 子どもたちの性 心身の成長発達 24 人<br>3. 子どもたちの心の居場所 40 人<br>4. 子どもをどうとらえるか 子どもの権利条約 20 人<br>5. 子どもたちの現状 発達障害への理解 21 人  |
| 参加者数等         | 参加者数 139 人、スタッフ 内 27 人   |
| 得られた成果・効果     | <ul style="list-style-type: none"><li>初めて 2 校区の子ども委員会と連携したことで、参加者が増え、地域に子どもへの新しい関心を広げることができたと確信した。</li><li>これまでの受講者は 50 歳代、40 歳代の女性が多かったが、今回は男性や若い世代の人が多く、大変良い刺激を貰った。</li><li>今期、8 人の方が受け手として新登録。活動が活気づいた。中でも男性が 3 人、内 2 人は現役の大学生、やる気充分。</li><li>講座内容が今の子どもの問題をよく捉えていると、講師とともに好評で、チャイルドラインへの深い理解に繋がった。</li></ul> |
| 課題・反省点        | <ul style="list-style-type: none"><li>協働する相手の団体を知る機会として、もっと密着して協力関係を作るべきだった。</li><li>子どもの現状について、もっともっと話し合う場を、機会を作ることが必要と痛感した。</li><li>子どもたちが抱える様々な問題について、各地域に先ずは知ってもらうことが重要であるので、今後も地域で子どもと関わる活動をしている団体との繋がりを広げていきたい。<br/>(子ども委員会)</li></ul>   |
| 今後の活動計画・事業展望等 | <ul style="list-style-type: none"><li>電話を掛けてくる子どもの声を確実に受け止めていくために、受ける大人側の体制づくりが課題となっている。そのため講座開催は、不可欠。</li><li>子どもの声を聴くツールは、電話だけでなくいまやオンラインチャットが検討されている。子どもたちが利用しやすく、より使いやすいツールに近づく対応も求められている。</li><li>研修を重ねていくことが必要。</li></ul>  |

※事業実施状況が確認できる写真を添付してください。